



国民の森林・国有林

広報

か な ぎ

津軽森林管理署 金木支署

No 192

2006.10.5

不法投棄に関する講習会開催

林野庁では7月を『「国民の森林」クリーン月間』として設定し、不法投棄防止のための取り組みを全国的に推進しているところです。当支署においても9月6日不法投棄に関する講習会を開催しました。

講習会には、日頃ゴミの不法投棄対策にご協力を頂いている五所川原市環境対策課から講師として来て頂き、関係法律や市の取り組み事例などの話を聞きました。年々不法投棄は悪質化しており、現行犯でなければ、捨てた人の特定や罰則の適用が難しい状況にあるとのこと。大切なのは、「他の人も捨てているから自分も捨ててもいい」という気持ちを起こさせない為に、不法投棄を見つけたら、被害が最小限のうちにすぐ対策をとり未然防止を図ること、「不法投棄は罪」という意識の啓発を行うこと、との説明を受けました。また、リサイクル法の改正により家電4品目の不法投棄が毎年増えており、中でも比較的捨てやすいテレビが多く、2011年までには地上波のデジタル放送完全移行に伴い、更にテレビの不法投棄の増加が予想されるとのことでした。今後とも関係市町村と協力のうえ、管内国有林の不法投棄対策に努めると共に、支署自らも法令等遵守を心掛けていきます。



市の担当者から説明を受ける

ヒバ素材の生産・販売、今年度予定を終了

5月に事業着手したヒバの素材生産事業は順調に推移し7月一杯で終了、伴う販売事業も9月をもって完売となりました。

今年度のヒバ生産量約 1,100m³の計画に対して、概ね計画どおりの実行結果が得られましたが、内容的には、長材生産の徹底や需要の動向に合った採材等に努めたものの、材質の低下は否めない結果となっています。

販売計画においては、年度当初から市況が思わしくなく、良材の選別買いが目立ち、一部には応札がない状況が続き最多で7回目で完売となった物件もありました。また、今年の箇所には欠点(あて)が見られたことから単価の下落現象が見られ、金額では予定を下回る結果となっています。

翌年度計画の策定の時期となっていることから、十分検討を加え今年度の実行結果を踏まえた計画策定をしたいと考えています。なお、現在の生産事業はスギ人工林の間伐を実行しています。

間伐

伐採跡地に植え付けされるスギ苗木は1ヘクタール3,000本。この後下刈りや除伐などの手入れが加えられ成長を続けますが、20年を経過する頃になると木と木の間が混み合い、十分な成長が出来なくなります。そのまま放置すると、成長が鈍る、水土保持機能が低下、病虫害に弱い等の林になってしまうことから、スギそのものを間引きし、健全な林を造成するための「間伐」が大切な作業となります。

国有林では、スギ林は地域ごとに太い丸太を生産する林、節のない丸太を生産する林など様々な目的に応じて区分けした管理をしており、その目的に合った木を育てるために間伐は概ね10年程度の間隔で実行します。間伐された材(間伐材)は利用できる径級(太さ)に達していることから、切り捨てにすることなく、一般公売等により積極的な販売を行っています。

間伐材は、加工技術の発達により紙製の飲料缶や事務用紙、合板材の原料など多岐にわたって利用されています。当支署でも、スギ端材を利用したスツール、小物入れなどを制作し、地元の産業祭りに出品してPRを兼ね展示即売をしています。

適正な間伐が行われたスギ林
林内は明るく下草も生えています



総務課長（衛生管理者）による衛生講話を開催

生活習慣病のこわさについて考えたことがありますか？

平成18年度林野庁衛生週間実施中の10月5日、白戸総務課長を講師に署内・現場職員が参加して講習会を開催しました。

生活習慣病で亡くなる方は全体の約60%以上とされ、ベスト3は「がん、脳卒中、心筋梗塞」であることや、子供にも肥満、高コレステロールが増えており糖尿病、動脈硬化などが心配されているということ、今や流行語(?)にもなっている「メタボリックシンドローム」など多くの生活習慣病について、また、予防の基本として、回数・時間・バランスのとれた食事、適度な運動を継続して、そして禁煙は欠かせない等の話がありました。

誰もが健康には気を払い、少なからず努力しているはず、なのに病気は増える一方のようです。この機会に、改めて家族とともに「生活の習慣と健康」を話し合ってみてはいかがでしょうか。



◆ 9月の公売結果 ◆

素 材

(9月7日青森市・青森木材センター)
山元：ヒバ丸太12口、約160m³を出材し、落札は1口のみ8%となっています。

(9月21日青森市・青森木材センター)
山元：ヒバ丸太11口、約140m³を出材し、全落となっています。

立 木(署入札場)

スギ外皆伐(分取育林)2口、約3,500m³、スギ間伐5箇所を3口として約800m³出材し、皆伐の1口は、3枚の応札で落札しましたが、1口は不落札となっています。間伐は落札1口で、2口については応札なしとなっています。

春には花を咲かせた木々、いまは

「庁舎敷地内の樹木は花盛り」(NO189号)で敷地内に咲く木々を紹介しましたが、朝晩が肌寒くなったこの季節、ツリバナ、イチイ、ウメモドキは深紅の実を、また、エゴノキはギンナンの様な実を付けました。白い花が満開だったヤマナシも枝一杯に小さな果実を付けました。サクラやナナカマド、ニシキギには紅葉の気配が漂っています。



イチイ



ツリバナ



エゴノキ



ウメモドキ

037-0202

青森県五所川原市 金木町芦野200-498

TEL(代)0173-53-3115・FAX 0173-53-3197・IP 050-3160-5875・この用紙は間伐材を使用しています(間伐材10% 古紙90%)

「広報かなぎ」はホームページでもご覧いただけます。(URL: <http://www.kanagi-kokuyurin.jp>)